



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月8日

東

上場会社名 株式会社放電精密加工研究所

上場取引所

コード番号 6469

URL <https://www.hsk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村田 力

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 瀧川 浩二 TEL 045-277-0330

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	10,519	14.0	857	173.0	794	182.1	485	154.8
2025年2月期第3四半期	9,226	4.7	314	239.9	281	215.8	190	117.1

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 682百万円(59.6%) 2025年2月期第3四半期 427百万円(79.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	45.45	—
2025年2月期第3四半期	17.85	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期第3四半期	18,192	8,824	43.4	738.96
2025年2月期	17,551	8,264	41.9	688.91

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 7,892百万円 2025年2月期 7,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,101	9.3	800	16.1	708	10.0	427	△26.7	40.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年2月期3Q	10,953,900株	2025年2月期	10,953,900株
2026年2月期3Q	273,170株	2025年2月期	277,255株
2026年2月期3Q	10,678,902株	2025年2月期3Q	10,674,215株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年3月1日～2025年11月30日）におけるわが国経済は、堅調なインバウンド需要に加え、雇用・所得環境の改善が見られ、国内景気の下支えとなりました。しかしながら、物価上昇に伴う個人消費の低下や米国の関税政策の動向、複雑化する世界情勢などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く業界動向においては、住宅分野および交通・輸送分野は各市場における需要の鈍化を背景に低調に推移いたしました。一方、AIの普及に伴う世界の電力需要の増加を受け環境・エネルギー分野が伸長し、コロナ禍で低迷していた航空旅客需要の回復および世界的な防衛力強化に向けた動きにより航空・宇宙分野も堅調に推移いたしました。このような環境のもと、当社グループにおきましては、伸長するガスタービン部品および防衛装備品の需要に対応すべく、生産能力拡大に向けた取り組みを着実に進めるとともに、横浜工場の大和事業所への集約などを通じて、効率的な事業運営を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は10,519百万円（前年同期比14.0%増）となりました。利益につきましては、一部製品の価格改定の効果に加え、環境・エネルギー関連および航空・宇宙関連の生産拡大が寄与し、営業利益は857百万円（同173.0%増）、経常利益は794百万円（同182.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は485百万円（同154.8%増）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「放電加工・表面処理」に計上していた環境事業の一部を、「機械装置等」セグメントに区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間における比較・分析は、変更後の事業セグメントの区分に基づいております。また、各セグメントの営業利益は、各セグメントに配賦することが困難な本社管理部門に係る営業費用等を控除する前のものであります。

①放電加工・表面処理

放電加工・表面処理は、航空・宇宙関連では、コロナ禍で低迷していた航空機エンジン部品の生産量回復および防衛予算の拡大を背景に防衛装備品の需要が増加いたしました。環境・エネルギー関連では、引き続き、ガスタービン部品は電力需要の増加に伴い受注が増加し、遠心圧縮機部品も石油・ガス産業における精製・輸送需要の増加を背景に受注が増加いたしました。以上の要因により、前年同期比で増収となりました。利益面では、増収および生産性向上に加え、前期に実施した一部製品の価格改定の効果により、増益となりました。

その結果、売上高は7,208百万円（同21.2%増）、営業利益は1,465百万円（同53.6%増）となりました。

②金型

金型は、住宅関連では、省エネ基準適合義務化に伴う駆け込み需要の反動により、国内のアルミ押出用金型は減収となりましたが、海外子会社における需要の増加により増収となりました。一方で、交通・輸送分野では、セラミックスハニカム押出用金型における大型製品の受注が減少し、減収となりました。セグメント全体では前年同期比で増収となりました。利益面では、国内のアルミ押出用金型の減収により、微減となりました。

その結果、売上高は2,490百万円（同0.8%増）、営業利益は231百万円（同1.5%減）となりました。

③機械装置等

機械装置等は、機械設備関連では、プレス機の販売は増加したものの、プレス機付帯設備およびMF混合溶融装置等の販売が減少したため、機械設備全体では減収となりました。一方で、交通・輸送関連では、自動車関連プレス部品が価格改定の効果により前年同期に比べ増収となりました。以上の要因によりセグメント全体では前年同期比で増収となりました。利益面では、自動車関連プレス部品の価格改定に加え、工場集約による固定費の圧縮が寄与し、増益となりました。

その結果、売上高は820百万円（同1.6%増）、営業利益は65百万円（前年同期は47百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ160百万円減少し、7,634百万円となりました。その主な要因は、受取手形の減少85百万円、売掛金の減少97百万円、電子記録債権の減少81百万円、仕掛品の増加145百万円によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ801百万円増加し、10,558百万円となりました。その主な要因は、建物および構築物の増加132百万円、機械装置及び運搬具の減少91百万円、リース資産の増加454百万円、投資有価証券の増加259百万円によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて640百万円増加し、18,192百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ675百万円減少し、4,927百万円となりました。その主な要因は、電子記録債務の増加198百万円、短期借入金の減少1,406百万円、その他に含まれる未払金の増加525百万円によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ757百万円増加し、4,441百万円となりました。その主な要因は、長期借入金の増加387百万円、リース債務の増加336百万円によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて81百万円増加し、9,368百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ559百万円増加し、8,824百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加357百万円、その他有価証券評価差額金の増加178百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比1.5ポイント増加し、43.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年10月2日に公表しました予想に変更ありません。なお、上記予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,598,222	2,586,137
受取手形	87,751	1,955
売掛金	2,700,339	2,602,383
電子記録債権	515,289	433,488
商品及び製品	15,963	21,986
仕掛品	1,116,329	1,261,554
原材料及び貯蔵品	680,483	619,544
未収入金	4,064	1,300
その他	76,040	105,889
貸倒引当金	△31	△28
流動資産合計	7,794,452	7,634,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,806,479	1,938,969
機械装置及び運搬具（純額）	1,669,933	1,578,207
土地	4,427,091	4,427,027
リース資産（純額）	1,091,756	1,546,120
建設仮勘定	20,719	69,916
その他（純額）	104,664	150,367
有形固定資産合計	9,120,645	9,710,608
無形固定資産		
ソフトウェア	86,324	72,469
その他	4,624	2,341
無形固定資産合計	90,949	74,810
投資その他の資産		
投資有価証券	279,663	539,122
繰延税金資産	140,612	66,968
その他	125,528	166,936
投資その他の資産合計	545,804	773,028
固定資産合計	9,757,399	10,558,447
資産合計	17,551,852	18,192,657

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	446,200	466,115
電子記録債務	615,533	813,585
短期借入金	3,208,544	1,801,584
リース債務	228,234	318,233
未払法人税等	115,630	191,402
契約負債	776	1,694
賞与引当金	332,959	189,194
その他	655,246	1,145,660
流動負債合計	5,603,125	4,927,470
固定負債		
長期借入金	1,444,755	1,831,867
リース債務	914,766	1,251,447
繰延税金負債	16,866	16,866
退職給付に係る負債	1,166,848	1,175,468
資産除去債務	55,149	48,153
その他	85,680	117,297
固定負債合計	3,684,066	4,441,100
負債合計	9,287,191	9,368,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,889,190	1,889,190
資本剰余金	1,778,915	1,781,397
利益剰余金	3,389,952	3,747,225
自己株式	△185,427	△182,695
株主資本合計	6,872,631	7,235,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	142,073	321,032
繰延ヘッジ損益	△2,567	1,654
為替換算調整勘定	197,164	192,839
退職給付に係る調整累計額	145,898	142,004
その他の包括利益累計額合計	482,568	657,530
非支配株主持分	909,460	931,438
純資産合計	8,264,660	8,824,086
負債純資産合計	17,551,852	18,192,657

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	9,226,601	10,519,288
売上原価	7,127,886	7,810,404
売上総利益	2,098,715	2,708,883
販売費及び一般管理費		
運搬費	52,140	63,546
給料	714,638	719,017
賞与引当金繰入額	44,768	48,605
退職給付費用	49,988	47,584
旅費及び交通費	63,975	71,001
減価償却費	65,617	58,145
研究開発費	29,713	19,199
その他	763,596	823,805
販売費及び一般管理費合計	1,784,438	1,850,905
営業利益	314,276	857,978
営業外収益		
受取利息	4,797	3,830
受取配当金	2,357	1,599
受取賃貸料	2,420	2,232
受取割引料	369	106
その他	4,157	2,681
営業外収益合計	14,102	10,450
営業外費用		
支払利息	38,163	65,567
為替差損	5,870	4,910
賃貸費用	236	70
その他	2,449	3,406
営業外費用合計	46,720	73,954
経常利益	281,659	794,474
特別利益		
固定資産売却益	13,019	1,433
補助金収入	20,000	20,000
特別利益合計	33,019	21,433
特別損失		
固定資産売却損	1,204	520
減損損失	3,932	—
固定資産除却損	1,029	27,784
工場移転費用	—	11,149
特別退職金	10,060	—
特別損失合計	16,227	39,455
税金等調整前四半期純利益	298,450	776,452
法人税等	99,587	264,926
四半期純利益	198,862	511,526
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,330	26,133
親会社株主に帰属する四半期純利益	190,532	485,392

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	198,862	511,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97,957	178,958
繰延ヘッジ損益	—	4,222
為替換算調整勘定	106,852	△8,480
退職給付に係る調整額	23,972	△3,893
その他の包括利益合計	228,783	170,806
四半期包括利益	427,646	682,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	366,957	660,354
非支配株主に係る四半期包括利益	60,688	21,977

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	放電加工・ 表面処理	金型	機械装置等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,948,598	2,470,969	807,033	9,226,601	—	9,226,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	140	40,022	25,245	65,407	△65,407	—
計	5,948,738	2,510,991	832,279	9,292,009	△65,407	9,226,601
セグメント利益又は セグメント損失(△)	953,977	235,425	△47,992	1,141,410	△827,133	314,276

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△827,133千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△827,090千円及びセグメント間取引消去△43千円であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	放電加工・ 表面処理	金型	機械装置等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,208,372	2,490,731	820,183	10,519,288	—	10,519,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70	68,349	62,145	130,565	△130,565	—
計	7,208,442	2,559,081	882,328	10,649,853	△130,565	10,519,288
セグメント利益	1,465,076	231,897	65,424	1,762,398	△904,420	857,978

(注) 1. セグメント利益の調整額△904,420千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△905,506千円及びセグメント間取引消去1,086千円であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間よりセグメントの区分を変更しております。これは2025年3月より機械設備事業と混合溶融技術を軸とした環境事業を統合することで、双方の技術力を結集し、より高度な技術開発や製品開発等でシナジー効果を発揮する環境を整える目的で環境事業を主とする横浜工場を機械設備事業を主とする大和事業所に統合したことに伴い、従来「放電加工・表面処理」に計上しておりました環境事業の一部を、「機械装置等」セグメントの区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	528,955千円	621,681千円

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

第1四半期連結会計期間より、従来「放電加工・表面処理」に計上していた環境事業の一部を、「機械装置等」セグメントに区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間における比較・分析は、変更後の事業セグメントの区分に基づいております。

①生産実績

前第3四半期連結累計期間（2024年3月1日～2024年11月30日）

（単位：千円）

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2024年3月1日～2024年11月30日)	
		前年同期比 (%)
放電加工・表面処理	6,311,744	125.4
金型	2,421,962	87.4
機械装置等	667,981	77.5
合計	9,401,688	108.5

（注）1. 上記金額は、販売価格によって表示しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間（2025年3月1日～2025年11月30日）

（単位：千円）

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2025年3月1日～2025年11月30日)	
		前年同期比 (%)
放電加工・表面処理	7,482,190	118.5
金型	2,523,737	104.2
機械装置等	704,585	105.5
合計	10,710,512	113.9

（注）1. 上記金額は、販売価格によって表示しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

前第3四半期連結累計期間(2024年3月1日～2024年11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2024年3月1日～2024年11月30日)	前年同期比(%)	
放電加工・表面処理	6,391,048		111.5
金型	2,388,516		89.4
機械装置等	1,007,868		92.2
合計	9,787,434		103.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間(2025年3月1日～2025年11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2025年3月1日～2025年11月30日)	前年同期比(%)	
放電加工・表面処理	8,227,891		128.7
金型	2,472,806		103.5
機械装置等	851,237		84.5
合計	11,551,935		118.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

前第3四半期連結累計期間(2024年3月1日～2024年11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2024年3月1日～2024年11月30日)	前年同期比(%)	
放電加工・表面処理	5,948,598		116.0
金型	2,470,969		89.6
機械装置等	807,033		87.1
合計	9,226,601		104.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間(2025年3月1日～2025年11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2025年3月1日～2025年11月30日)	前年同期比(%)	
放電加工・表面処理	7,208,372		121.2
金型	2,490,731		100.8
機械装置等	820,183		101.6
合計	10,519,288		114.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。